

# 岩手県の災害廃棄物

あの時から1年あまり

岩手県環境生活部  
廃棄物特別対策室



# 被災地の現状



被災前

被災後



田野畑村内

# 被災地の状況



宮古市役所付近 (H23.3.11)

# 被災地の現状



被災直後

昨年秋



大槌町内

## 岩手県の被害状況

- 死者 4,671名
- 行方不明 1,213名

- 家屋倒壊数 24,877 棟

# 災害廃棄物の仮置場



大槌町仮置場のひとつ

# 災害廃棄物の仮置場



山田町仮置場のひとつ

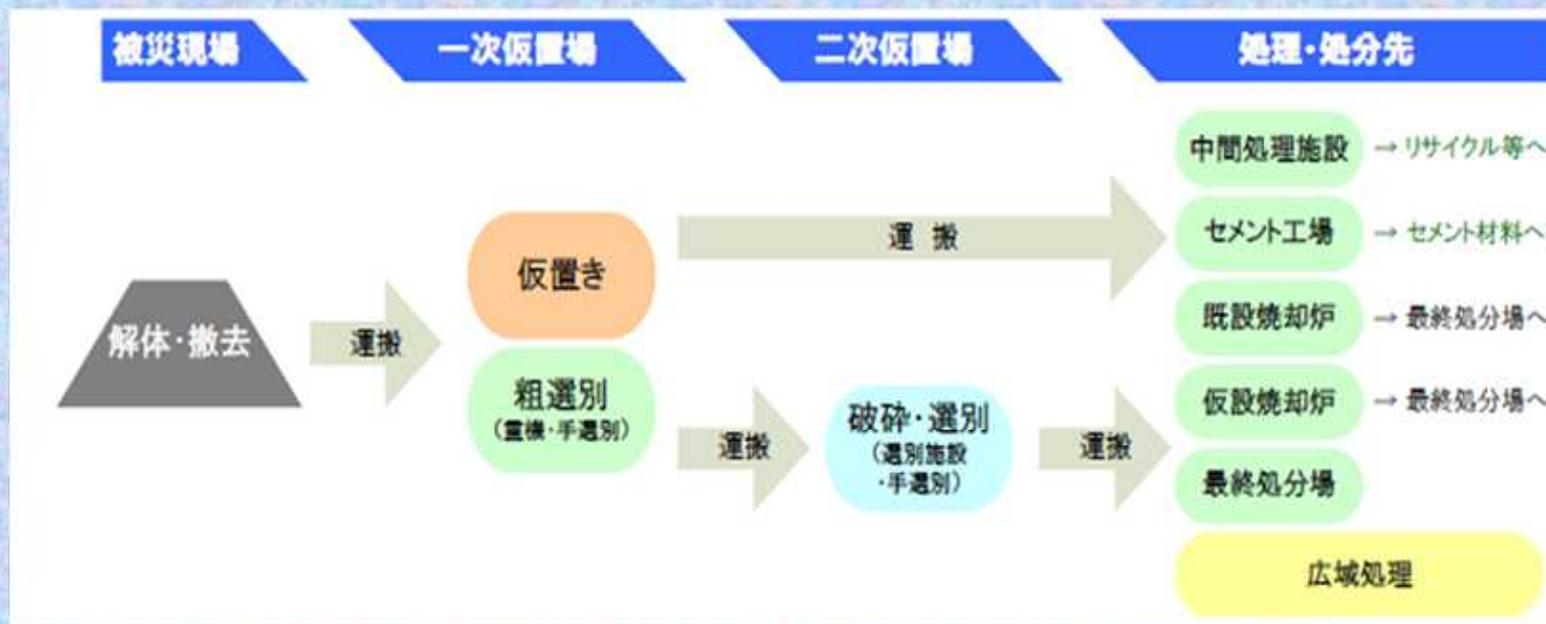
- 数か所の仮置場で**火災**が発生
- 今年夏には再び**悪臭**や**害虫**等の発生が懸念



(仮置場における火災発生状況)

# 岩手の災害廃棄物処理

岩手県災害廃棄物処理詳細計画 (H23.8.30)  
に基づき実施。



# 処理のスケジュール

被災現場からの撤去：

平成24年3月末まで（1年）

災害廃棄物の処理：

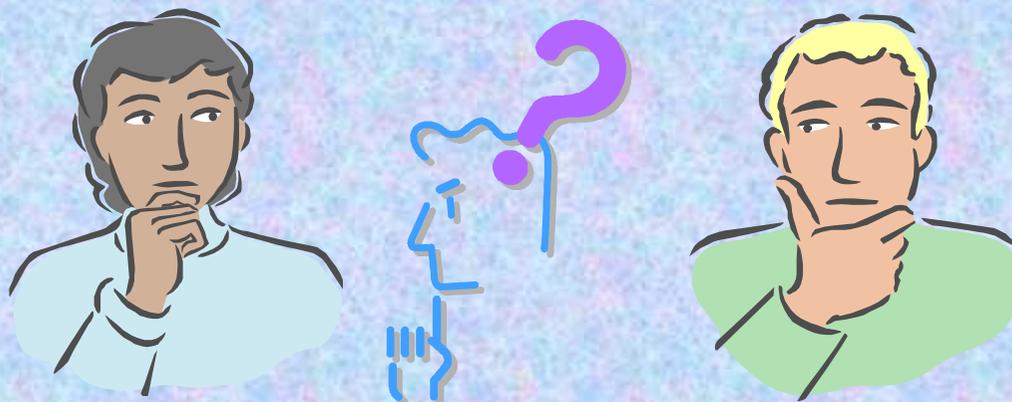
平成26年3月末まで（3年）

# 災害廃棄物の量

約435万t

岩手県内の一般廃棄物量の  
約10年分に相当

岩手県内で全量  
処理出来ないの？  
どうして広域処理が必要なの？



# 435万tのうち、焼却や埋立て等の 処理が必要な量は、約183万t

種類	量
柱材・角材	593,100t
可燃物	727,600t
不燃物	505,700t
コンクリートがら ・堆積物	1,706,100t
金属くず ・その他	820,500t
合計	4,353,000t

焼却、埋立て、リサイクル(木  
材ボード、セメント原料等)  
(計1,826,400t)

復興資材として活用

業者に売却等

岩手県内では

県内施設を**最大限活用**

(市町村の清掃センター、セメント工場等)

**仮設焼却炉**も整備

(宮古地区95t/日、釜石地区109t/日)

 **県内でできる限りの処理を実施**

施設を最大限活用しても、**県内で3年以内**に処理可能な量は、**約125万t**

柱材・角材	可燃系	不燃系
44,100t	776,500t	432,500t

岩手県内の市町村焼却炉や産廃処理施設を最大限に活用して平成26年3月末までに処理出来る推計量

太平洋セメント搬出予定分は可燃物に計上

岩手県内だけでは処理  
が間に合わず、3年以内  
に処理するには広域処理  
が必要

# 広域処理が必要な量は

約57万t

柱材・角材	可燃系	不燃系
471,100t	29,000t	73,200t

国が「災害廃棄物の広域処理の推進に係るガイドライン」を示し、**広域処理の際の安全基準**を提示

安全に埋立て可能：8000Bq/kg以下

安全に再生利用可能：100Bq/kg以下

# 岩手県での測定結果

## おもな市町村の可燃物のベクレル数値

単位: Bq/kg

洋野町	久慈市	野田村	普代村	田野畑村
一部ND (39)	全てND (38)	全てND (73)	一部ND (40)	全てND (46)

宮古市	山田町	大槌町	陸前高田市
一部ND (69)	一部ND (46)	一部ND (80)	104

NDとは、  
不検出

検出下限値を下回ったものについては、検出下限値を測定値とした。  
陸前高田市の災害廃棄物は、全て県内で処理する予定。

# 岩手県での測定結果

## 宮古市および、大船渡市と陸前高田市

単位：Bq/kg

焼却炉	災害廃棄物の発生地域	焼却物における災害廃棄物の割合	主灰のセシウム濃度	飛灰のセシウム濃度
宮古市清掃センター	宮古市	27%	10	133
太平洋セメント大船渡工場	大船渡市 陸前高田市	100%	194	905

# ガイドラインに沿っての広域処理



積込みの様子

貨物列車に積載



東京都への搬出 11月2日

# 東京都の測定結果 11月30日

## 宮古の災害廃棄物受入施設 4事業所

可燃物	リサイクル・ピア	高俊興業	リーテム	有明興業
遮蔽線量率 $\mu\text{Sv/時}$ (平成23年11月10日(リーテム:14日))	0.001	0.000	0.001	0.000
放射性物質濃度(放射性セシウム) Bq/kg (平成23年11月10日(リーテム:14日))	60	ND (<40)	95	111
不燃物				
遮蔽線量率 $\mu\text{Sv/時}$ (平成23年11月10日(リーテム:14日))	0.002	0.001	0.001	0.001
放射性物質濃度(放射性セシウム) Bq/kg (平成23年11月10日(リーテム:14日))	ND (<40)	ND (<40)	ND (<40)	ND (<40)

岩手県の災害廃棄物は全てND(不検出)。(赤丸)  
東京都の廃棄物との混合処理の場合は検出されている。

## 3月までに処理出来た量

435万トンのうち

およそ、49万トン

全体の約11%